

クイックスタートガイド (behringer.com にてマニュアルをチェック)



EUROPOWER PMP1680S/PMP980S/PMP960M

1600/900-Watt 10/6-Channel Powered Mixer with
Dual Multi-FX Processor and FBQ Feedback Detection System

JP

JP

安全にお使いいただくために



注意

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。



注意

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。



注意

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。



注意

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。



注意

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのも

のです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用している運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたできません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ベックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

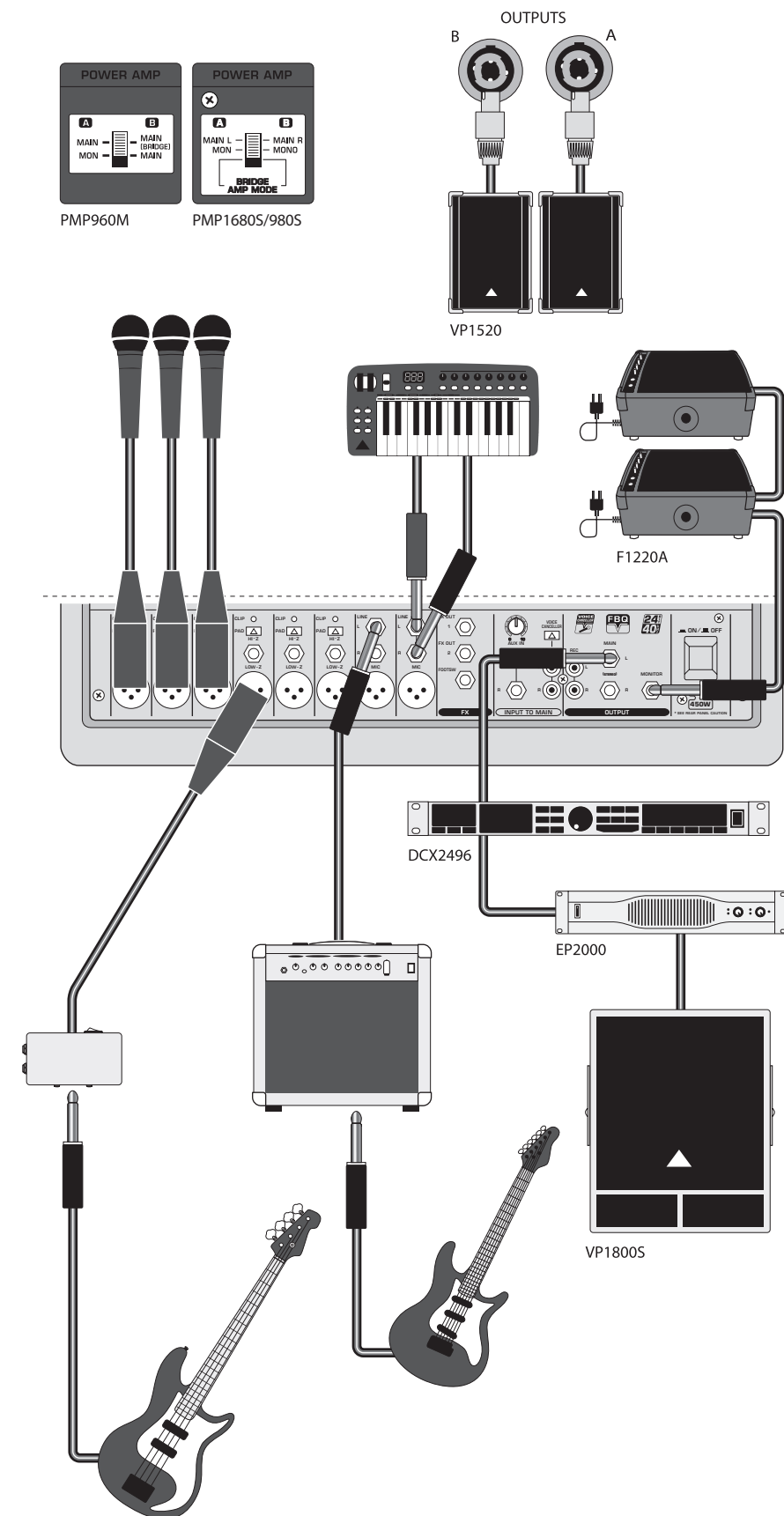
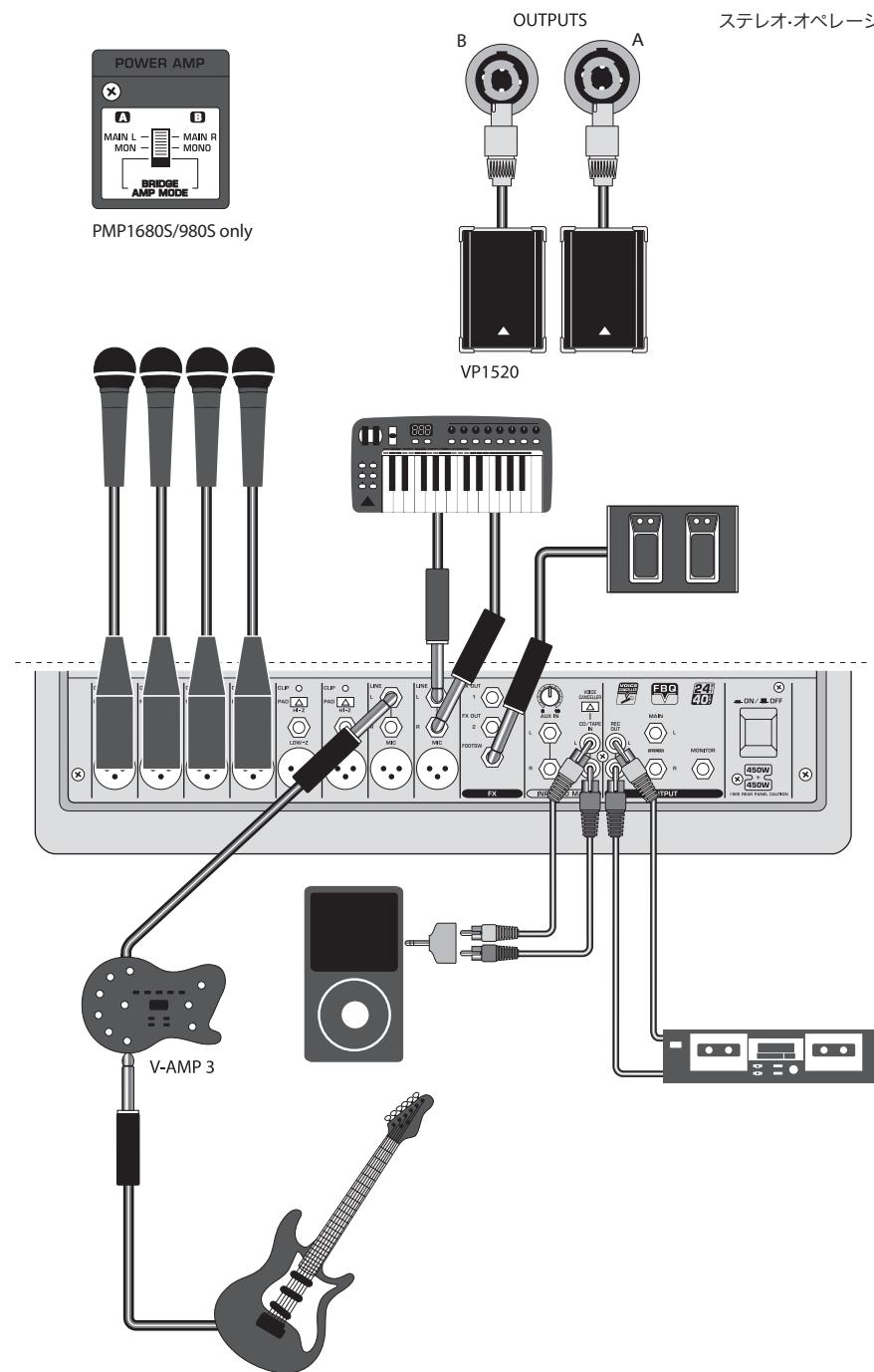
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146,
Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

EUROPOWER PMP1680S/PMP980S/PMP960M フックアップ

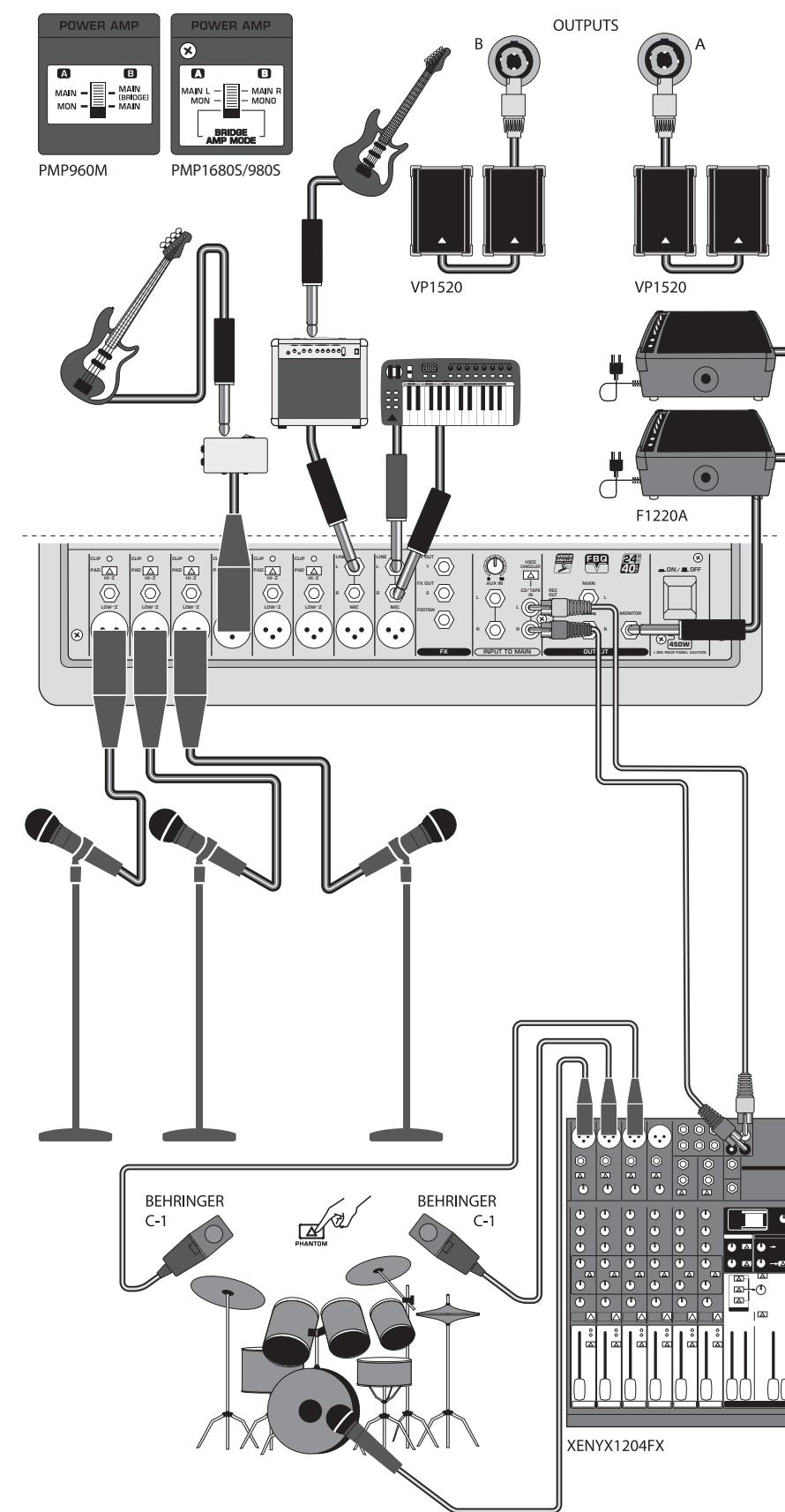
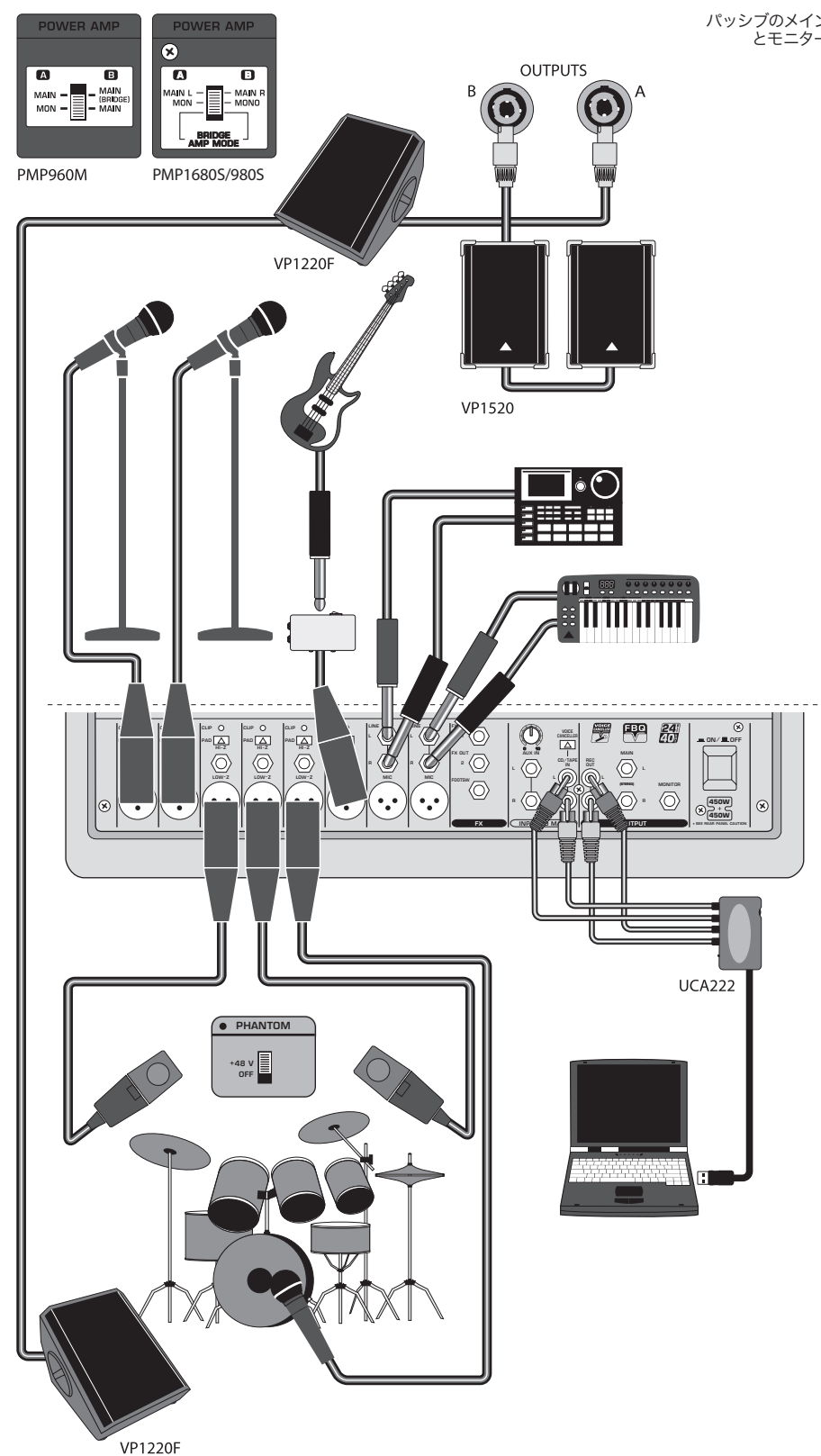
ステップ 1: フックアップ



メインとサブウーファー

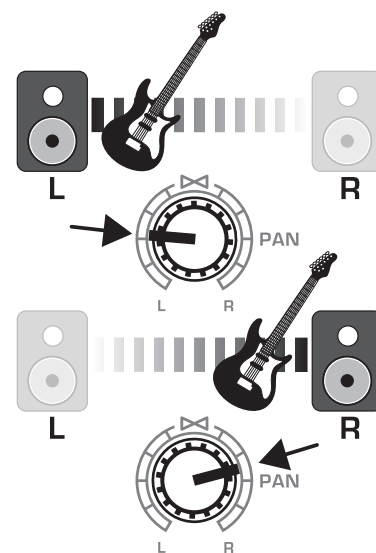
EUROPOWER PMP1680S/PMP980S/PMP960M フックアップ

ステップ 1: フックアップ



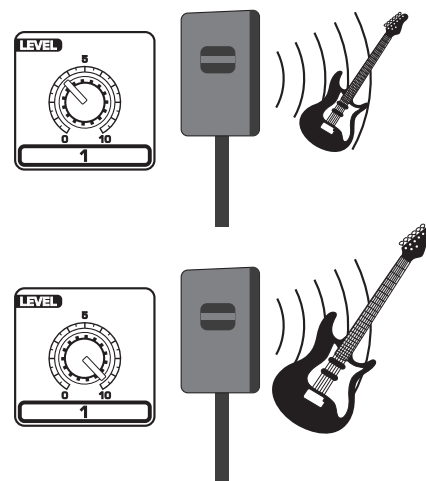
EUROPOWER PMP1680S/PMP980S/PMP960M コントロール

ステップ 2: コントロール



PAN ノブは、ステレオ・フィールドでチャンネルのポジションを決めます。

MON ノブは、パッシブのモニターモニターを使っているとき、MONITOR 出力端子と OUTPUT A に送るチャンネルの信号の量を決めます。



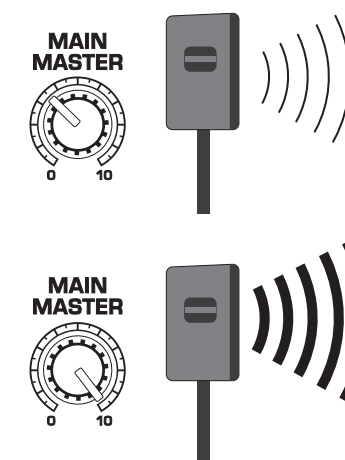
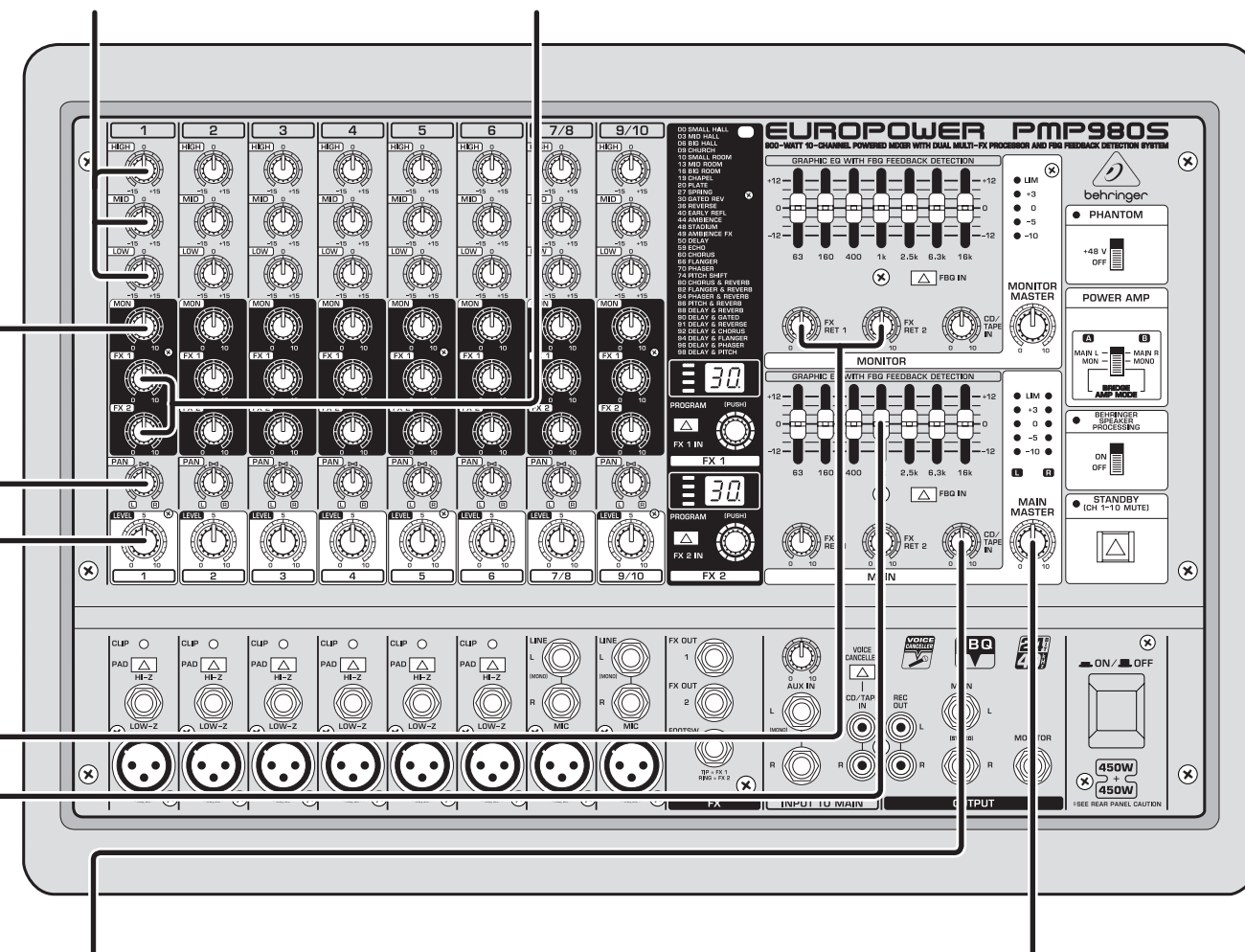
LEVEL ノブは、チャンネルのボリュームを調整します。

FX RET 1 & 2 ノブは、メインまたはモニター・ミックスに含まれる、内蔵のマルチ-FX プロセッサからの信号の量を決めます。

GRAPHIC EQ は、サウンドのスペクトラムの特定の周波数を調整します。

EQ ノブは、チャンネルのハイ、ミッド、ロー周波数を調節します。

FX 1 & 2 ノブは、対応するマルチ-FX プロセッサに送るチャンネルの信号の量を決めます。



MAIN MASTER ノブは、メインの信号の出力を調整します。

EUROPOWER PMP1680S/PMP980S/PMP960M コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

MULTI-FX PROCESSOR

は、選択されたサウンド・エフェクトを、FX ノブが上がっているすべてのチャンネルに追加します。"始めに"のステップ 11 をお読みください。

MONITOR MASTER

ノブは、MON/MONO モードを使っているとき、モニター信号と OUTPUT A の出力を調節します。

POWER AMP

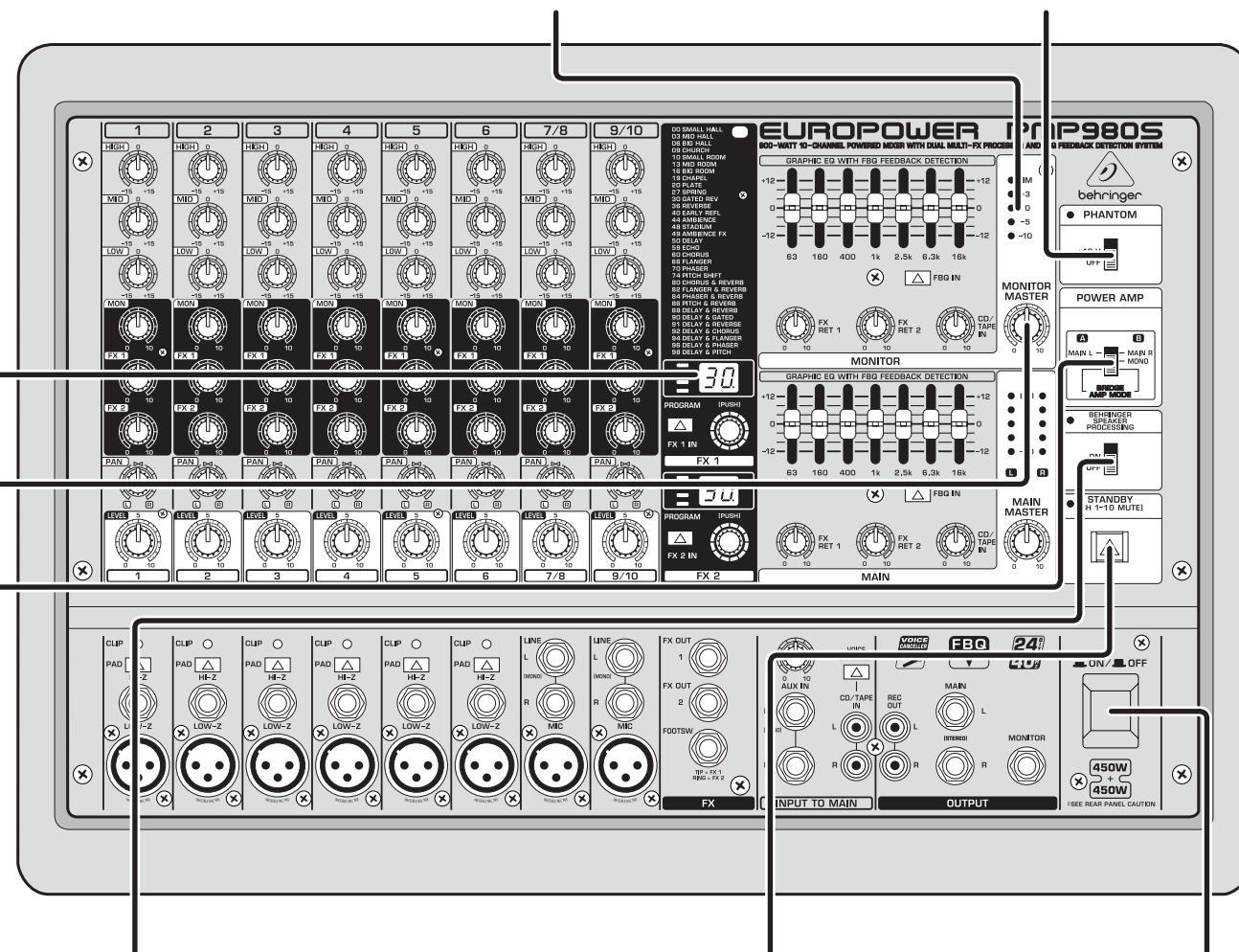
スイッチは、パワーアンプの動作モードを選択します。詳細については、接続例を参照してください。

SPEAKER PROCESSING

スイッチは、ローエンドの周波数帯が限られているスピーカーの補正をミキサーで行います。

METERS は、メインとモニターの出力信号レベルを表示します。

PHANTOM スイッチは、コンデンサー・コンデンサー・マイクロフォンを使うために、XLR 入力に 48V を送ります

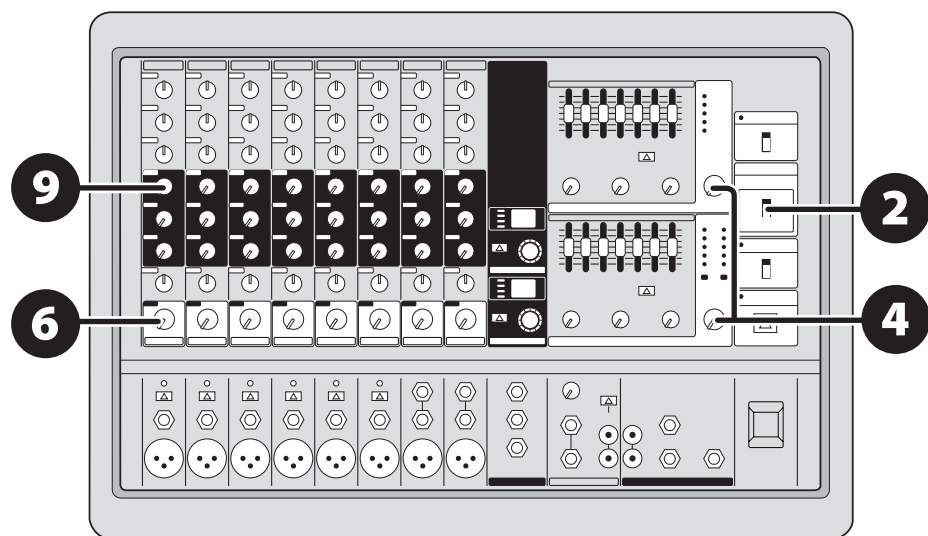


STANDBY ボタンは、すべての入力チャンネルをミュートします。

ON/OFF ボタンは、ミキサーの電源をオン、オフします。

EUROPOWER PMP1680S/PMP980S/PMP960M はじめに

ステップ 3: はじめに



1 ミキサーにすべてのパワー、オーディオ、スピーカーを接続します。すべての機器の電源はオフのままにしてください。

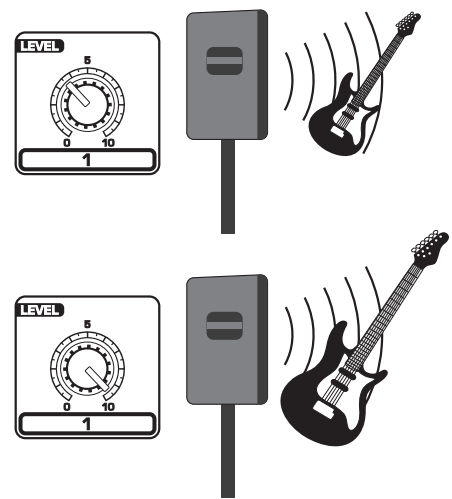
2 POWER AMP スイッチで、適切な動作モードを選択します。

3 上に表示されているコントロールをセットします。(EQ と PAN はセンター、グラフィック EQ スライダーはセンター、他のすべては、最小/オフ)。

4 MAIN MASTER ノブと MONITOR MASTER ノブを最小にし、ミキサーの電源をいれます。

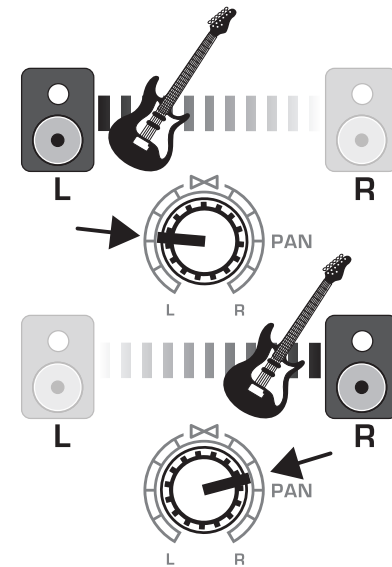
5 MAIN MASTER を、まず全体の 1/3 までゆっくりと上げます。

6 各チャンネルの LEVEL ノブを上げ、マイクと楽器のレベルを調節します。



7 ラインレベルの入力では、クリッピングを防止するために PAD ボタンを押します。チャンネルの CLIP LED が点灯する場合は、PAD ボタンを押すか、もし PAD がすでに押されている場合は、LEVEL を下げます。

8 必要に応じて、ステレオフィールドのチャンネルの左右のポジションを、チャンネルの PAN ノブを回して調節します。



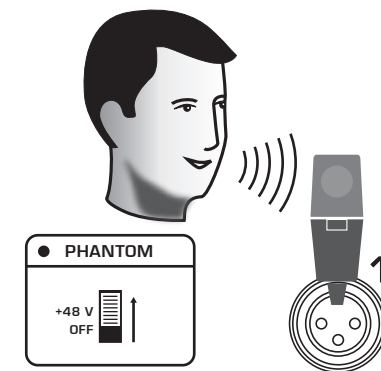
9 チャンネルの MON ノブを使って、チャンネルの信号を(複数の)モニター・スピーカーに送ります。

10 MAIN MASTER ノブを使って、メインスピーカーの全体的な出力を調節し、MONITOR MASTER ノブを使って、モニタースピーカーの出力を調節します。METERS ライトのいずれかの CLIP LED が点灯するときは、対応する MASTER ノブを下げてください。

11 PMP シリーズシリーズ・ミキサーは、エフェクト・プロセッサを内蔵しています。次のステップに従って、エフェクトを(複数の)チャンネルに加えます。

- エフェクトを加えたいチャンネルの FX1 ノブを中央まで回します。
- FX1 IN ノブを押してプロセッサを有効にします。
- MAIN セクションの FX RET1 ノブをまず中央まで回し、後から調節します。モニターミックスでもエフェクトを加えたいときは、MONITOR セクションの FX RET1 ノブを同じように中央まで回します。
- PROGRAM ノブを回してエフェクトを選び、PROGRAM ノブを押してエフェクトを選択します。
- 各チャンネルの FX1 ノブをもう一度調節して、必要な量のエフェクトが加わるようにします。
- マルチFXディスプレイの METER が赤の CLIP LED まで点灯するときは、各チャンネルの FX ノブを下げます。
- 1680S/980S では、FX2 と FX RET2 ノブでも、複数のチャンネルに 2 番目のエフェクトを追加するために、同じ操作を繰り返します。

ファンタム電源 - コンデンサー・マイク用。ファンタム電源 - コンデンサー・マイク用。ファンタム電源 - コンデンサー・マイク用。ファンタム電源 - コンデンサー・マイク用。



JP 技術仕様

PMP1680S		PMP980S		PMP960M	
マイク導入部					
タイプ		XLR, 電子バランス型で非連続スイッチ			
Mic E.I.N. (20Hz - 20kHz)					
@ 0 Ohm 供給源抵抗器}		-112 dB/114 dB A 数値決定			
@ 50 Ohm 供給源抵抗器}		-112 dB/114 dB A 数値決定			
@ 150 Ohm 供給源抵抗器}		-112 dB/114 dB A 数値決定			
周波数の動き		< 10 Hz-100 kHz (-1dB) < 10 Hz>200 kHz (-3 dB)			
増幅範囲		+30 dB, パッドを持つ +10 dB			
最大導入レベル		+12 dBu @ +10 dB Gain			
インピーダンス		約 2.2 kOhm バランス型 / 1.1 Ohm アンバランス型			
ノイズ状態		110 dB/114 dB A 数値決定 (0 dBu In @ +10 dB Gain)			
歪み (THD + N)		0.001% / 0.0007% A- 数値決定			
モノライン導入部					
タイプ		6.3 mm のモノジャックソケット、アンバランス型			
インピーダンス		約 20 kOhm、対称的			
最大導入レベル		+21 dBu			
ステレオライン導入部					
タイプ		6.3 mm のステレオジャックソケット、アンバランス型	6.3 mm のステレオジャックソケット、アンバランス型	—	
インピーダンス		約 100 kOhm、アンバランス型	約 100 kOhm、アンバランス型	—	
最大導入レベル		+21 dBu	+21 dBu	—	
イコライザー					
Low		80 Hz / +/-15 dB			
Mid		2.5 kHz / +/-15 dB			
High		12 kHz / +/-15 dB			
2 TR IN 導入部					
タイプ		RCA			
インピーダンス		約 10 kOhm、バランス型			
プリアンプアウトレット					
メイン					
タイプ		6.3 mm のステレオジャックソケット、アンバランス型			
インピーダンス		約 150 Ohm 非対称的			
最大アウトレットレベル		+21 dBu			
モニター					
タイプ		6.3 mm のステレオジャックソケット、非対称的			
インピーダンス		約 150 Ohm 非対称的			
最大アウトレットレベル		+21 dBu			
ステレオアウトレット					
タイプ		6.3 mm のステレオジャックソケット、非対称的	6.3 mm のステレオジャックソケット、非対称的	—	
インピーダンス		約 150 Ohm、非対称的	約 150 Ohm、非対称的	—	
最大アウトレットレベル		+21 dBu	+21 dBu	—	
タイプ		Cinch (RCA)			
インピーダンス		約 1 kOhm			
最大アウトレットレベル		+21 dBu			

PMP1680S		PMP980S		PMP960M	
メインミックスシステムデータ					
ノイズ					
メインミックス@ -∞ チャンネルフェーダー -∞		-102 dB/-106 dB A 数値決定			
メインミックス@ 0 dB チャンネルフェーダー -∞		-88 dB/-91 dB A 数値決定			
メインミックス@ 0 dB チャンネルフェーダー@ 0 dB		-84 dB/-86 dB A 数値決定			
ラウドスピーカーアウトレット					
タイプ		Neutrik Speakon 対応コネクター			
最終インピーダンス					
メイン L/R		4 - 8 Ohm	4 - 8 Ohm	—	
MONITOR/MAIN MONO		4 - 8 Ohm			
MAIN MONO/MAIN MONO		4 - 8 Ohm			
ブリッジ		8 - 16 Ohm			
DSP					
変成器		24 ビットデルタシグマ、64/128 面オーバーサンプリング			
ダイナミック D/A		90 dB			
サンプラー		40 kHz			
ディレイ時間		max. 5 s			
信号アップ時間 (Line In > Line Out)		approx. 1.5 ms			
ディスプレイ					
タイプ		2x 二桁の7セグメント表示	2x 二桁の7セグメント表示	二桁の7セグメント表示	
出力					
両チャンネル使用時の RMS @ 1% THD:					
各チャンネルごとに 8 Ohm		300 W	160 W	160 W	
各チャンネルごとに 4 Ohm		600 W	300 W	300 W	
ブリッジモードにおける RMS @ 1% THD:					
8 Ohm		1200 W	600 W	600 W	
両チャンネル使用時のピークレベル					
各チャンネルごとに 8 Ohm		400 W	260 W	260 W	
各チャンネルごとに 4 Ohm		800 W	450 W	450 W	
ブリッジモードにおけるピークレベル					
8 Ohm		1600 W	900 W	900 W	
パワーサプライ					
主電源電圧					
USA/Canada		120 V~, 60 Hz			
China/Korea		220 V~, 50 Hz			
Europe/Australia		230 V~, 50 Hz			
Japan		100 V~, 50/60 Hz			
ヒューズ		100 V~ : T 12 A H 250 V 120 V~ : T 10 A H 250 V 220 - 240 V~ : T 6,3 A H 250 V			
録音機能					
録音機能		1000 W	1050 W	1050 W	
ネットワーク接続		標準常温装置の接続			
寸法 / 重量					
寸法 (長さ x 幅 x 高さ)		315 x 460 x 220 mm (12 ⅜ x 18 ⅞ x 8 ⅝")			
重量		9.9 kg (21 ⅙ lbs)	9.4 kg (20 ¾ lbs)	8.5 kg (18 ¾ lbs)	

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

- 1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:**
ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。
- 2. 故障:** MUSIC Group ディーラーがお客様のお近くにはないときは、behringer.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の MUSIC Group ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ behringer.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、behringer.com で、オンラインの保証請求を要請してください。
- 3. 電源接続:** 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。



We Hear You